

## 長男の選択が 理解できなくて悩む A子さんのケース

公益社団法人家庭問題情報センター・荒又和子あらまたかずこ

A子さんの長男は三年前に離婚して家に戻ってきました。中年に達している長男ですが、過去の借金の返済に追われており、生活費を全く入れないなど、年金生活の父母への配慮はなく、身勝手な生活ぶりでした。A子さんは「イライラしましたが、夫が「傷付いているんだから、しばらくは大目に見てやろう」というので、我慢していました。ところが一年後、夫が死亡し、A子さんと長男の二人での生活になりました。

夫の死亡で、少しは責任を自覚してくれるのではないかと期待したのですが、全く変化が見られず、イライラが募り、また長男は異常なのではないかと不安が日毎に強まり、相談室を訪れました。A子さんは六十代半ばで、活動的な印象。着席すると、すぐ勢いよく話しました。

**カ** (カウンセラー) ご長男の一拳手一投足に腹が立つという状態ですか。

**A** (A子) そうです。寝たところを見計らって、そつと階段を上がってみると、電気は点けっぱなしで寝ており、生活費も入れないでと腹が立ち、また何でもここまで世話しないときちんとできないかと情けなく思うんですよ。

**カ** 注意するとご長男はどんな対応されますか。

**A** 特に反論したり攻撃する訳ではなく、黙って聞いています。元々無口なほうでしたから。

**カ** 注意しても、のれんに腕押しで効果も見えずでは侘しいですね。

**A** 夫は長男で、結婚当初から、舅姑と同居しておりました。長男と二男が生まれましたが、私が子どもを叱ると、子どもは姑の

ところに逃げてしまいました。しつめの効果が疑問を持ち、夫に訴えたりもしましたが、夫は姑に注意してくれず、私だけ悪者にされているという寂しさがありました。(A子さんは、今になって、当時の寂しい気持ちがよくえってきており、長男の現状は、それが原因だと思いうようにもなっていました。)

長男は、高校を卒業してから、仕事には就くものの長続きせず、転職が多かったです。そのため、いつまでも収入も増えず、いつも借金の返済に追われているという状態でした。現在は、結構長期間仕事が続いており、無断欠勤等もなく、雇い主との相性がいいのでしょうか。

**カ** ご長男には、どのような借金があるのですか。

**A** いくつかあるのですが、長男の借金のうち、車のローンとその駐車料の支払いが、どうしても無駄に思ってしまうのです。車には乗っていないからです。

長男が離婚して戻ってきた後、車を持ち込んでの運送業が安定した収入になるらしいと車を購入、駐車場も確保しました。けれども依頼主が見付からなかったように、車を駐車場に放置したまま、ローンのみ支払う状態になりました。

私の目にも見える形の借金なものですか

ら、車の売却をするようにと求めました。親戚にも売却を勧めてもらい、叔父などは長男に迫るように説得してくれましたが、長男は黙って聞くだけで、効果はありませんでした。

**力** ところで、ご長男は、珍しく仕事が続いているということでしたね。雇い主との相性だけですかね。

**A** そう思っていました。でも改めて考えると、父親もいなくなつて、少しは頑張らなければと思つているのでしようか。

(A子さんの表情に変化が出てきたように見えました。)

**力** ご長男にとつて、車はどんな存在なのでしょうかね。

**A** 長男が家に戻ってきた後、夫と長男がこれからの生き方の話し合いをしていたように、長男が車の運転が好きなことから、運送業の自営という話が出たのです。

今考えると、夫が長男とそんなにゆっくり話し合ったことはなかったように思います。

**力** そうなると、ご長男にとつて、車の存在は、お父様との絆を感じる物でもあるのでしょうか。

(A子さんの目に、じわつと涙が浮かんだように見えました。)

車のローンは高額だし、おまけに駐車料

も掛かる。節約のためには、車の売却は、最も合理的な方法であることは間違いないでしょうが、ご長男も反論はできないくらいにそれは分かつておられるのではないのでしょうか。

でもご長男にもこだわりがあるのでしようね。こだわりを大事にしてあげること、頑張りにつながることもありませうね。そして自信が付くと、合理的な解決を考えることができるようになるかもしれないませうね。

A子さんご自身の生活はいかがですか。ご主人が亡くなつて、生活はできますか。

**A** はい。夫の年金で、ぎりぎりですが生活できます。

これからは、自分の時間も持つて、長男の行動だけに、目くじらを立てないようにしてみます。

**力** ただご長男には、生活の自立はしていただかなければなりませんので、生活の実際は折に触れて話題にされることは大事だと思いますよ。

車だけに攻撃をあげせることを控え、仕事に頑張っていることには気付いていることも上手に伝えたいですね。

**A** そうですね。長男にとつて車は父親との絆で、大切にされたかったのかもしれないせん。

仕事が続いていることを褒めながら、年金での生活の状況を伝えていきたいと思ひます。

A子さんは、持ち前の明るさを取り戻し、相談室を後にしました。

